

池間島ヒャーリクス開催



発行者
NPO 法人いけま福
祉支援センター
電話：75-2870

今月1日、梅雨の晴れ間に恵まれた天気の中、ヒャーリクスが盛大に行われました。池間島のヒャーリクスは明治27年に始まり、今年で19回目を迎えました。記念すべき



120回を目前に控え、沖縄コカコーラボトリング株式会社の寄贈により「祝・池間島海神祭」という横断幕が水浜へ降りるゲートと公民館前に飾られました。爬虫船もきれいにペンキを塗りなおされ、準備も一段と気合が入っています。

今年のプログラムは、池間幼小中学校のエイサーパレードで幕を開け、開会式、御願パレードの後、幼稚園・小学1・2年生による「ゴーヘイスタンバイ」が披露されました。「ゴーヘイスタンバイ」とは、船が出航する際の見送りの応援歌として、宮古水産高校（現：宮古総合実業高校）の生徒たちが演舞してきた伝統的な演目で、池間島で披露されたのは10年ぶりとのこと。今回の「ゴーヘイスタンバイ」は、池間島のヒャーリクスに合わせて池間小学校の子どもたちが新たに歌詞をつけ、子ど

もたちの歌声を収録した音源にあわせて力強い演舞が披露されました。その後、青年分団別競漕、中学生男女混合競漕、女性分団別競漕、ムトゥウ對抗競漕、子供たちの競泳、綱引き、えさまき、宝探しと続き、職域對抗競漕にエントリーした18チームの熱戦、転覆ハリー競漕で午前の部を締めくくりました。熱戦の結果は次のとおりです。青年分団別



競漕一位：西分団、二位：東分団、三位：中分団。女性分団別競漕一位：東分団、二位：西分団、三位：中分団。ムトウ對抗競漕一位：前里ムトウ、二位：マイヌヤムトウ、三位：真謝ムトウ。職域對抗競漕一位：与儀工業、二位：勝連民宿、三位：昭和26年生チーム。午後の部では、水浜広場につくられた土俵にて沖縄角力の熱戦が繰り広げられました。



今月の行事

- 6月15日(日) 自治会総会
- 6月18日～20日 名護市立東江小学校89名民泊
- 6月21日(土) 15時～第3回シマ学校「昔ながらのとうふづくし」
- 6月26日～28日 川崎医科大学付属高校22名民泊
- 6月27日(金) 池間漁協総会

第2回シマ学校、野の「ごちそう」

島の高齢者の生活の知恵を記録にとどめ、そこから次世代へ引き継ぐべき島の宝ものを再発見していくとくみとして、「いけまシマ学校」を開講しています。

先月17日、第2回シマ学校として、昔から食べられてきた野に咲く「ごちそう」のアマイウムクトウを習うべく、集落内に自生している野草などを採集し、クッキングに取り組みました。講師は仲間ヤス子さんと與那嶺ヒデさん。学童保育の子どもたち14名も参加し、宮古島本島からも大人や子どももあわせて13名の参加がありました。集落を散策し、「海のほうれんそう」(ツルナ)、「アカバシユール」(ハンダマ)、ツルムラサキ、「パンツギー」(シマグワ)、ニラ、「ソーギー」(芋)の葉、「ヌビール」(ノビル)、「ンギヤナ」(ホソ



バワダン) などなど、全部で17種類の野草を収穫。ヤチユウサヤトウルナ、ワーガマジユールなど道端に咲く野草、雨が降るとぶくぶくと顔を出すヌイジユウなどは身体にとても良いのだと池間のお母さんたちは教えてくれます。お母さんたち曰く、「スマヌナバだから上等」。直訳すると「島の垢」となってしまうですが、島の土と私たちの身体が繋がっていることを教えてくれているのでしよう。収穫してきた野草は、てんぷらやアイジユウ、ヒラヤーチー、ドーナツなどにしておいしくいただきました。



野のごちそうマップを作成しました。センターにて配布しています。